2026年11月9日

各位

会　社　名　株式会社タカヨシホールディングス
代表者名　代表取締役社長　黒田　智也
（コード番号：9259　東証グロース）
問合せ先　管理本部長　串田　覚
（TEL. 043-276-7007）

特別損失の計上及び業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2026年９月期（2025年10月１日～2026年９月30日）において、下記の通り特別損失を計上することとなりましたのでお知らせいたします。

また2025年11月10日に公表いたしました2026年９月期通期連結業績予想を修正いたしましたので、併せてお知らせいたします。

記

１．特別損失の計上の内容

当社が保有する店舗の固定資産について、事業環境の変化を踏まえた収益性や今後の見通しなどから「固定資産の減損に係る会計基準」に基づき、将来の回収可能性を検討しました。その結果、店舗閉店に伴う費用等として固定資産除却損96百万円、中途解約違約金18百万円、その他特損（閉店店舗）18百万円、固定資産売却損65百万円、減損損失18百万円、合計215百万円を特別損失として計上することとしました。

２．業績予想の修正について

2026年９月期の業績予想数値の修正（2025年10月１日 ～ 2026年９月30日）

	営業収益	営業利益	経常利益	当期純利益	１株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想（Ａ）（2025年11月10日発表）	7,800	1,000	970	520	92.68
今回修正予想（Ｂ）	8,100	770	780	320	57.63
増減額（Ｂ）－（Ａ）	300	▲230	▲190	▲200	－
増減率（％）	3.8	▲23.0	▲19.6	▲38.5	－
（ご参考）前期実績（２０２５年９月期）	7,982	912	906	402	71.65

３．業績予想修正の理由

2026年９月期の営業収益は、「わくわく広場」の新規出店数が当初計画を上回ったことに加え、既存店舗の改装を積極的に推進したことなどにより、前回発表予想を上回る見込みとなりました。

一方、営業利益は、既存店舗の改装、物流体制の強化を目的とした物流センターの新設、生産者の利便性向上を目的とした野菜包装機の導入など、成長基盤の整備に伴う費用が発生したことに加え、人件費等が当初の想定を上回ったことから、前回発表予想を下回る見込みとなりました。

当期純利益は、上記に加え、特別損失215百万円を計上することにより、前回予想下回る見込みとなりました。これらは主に将来の成長に向けた先行投資と一時的な費用によるものであり、本業基盤は堅調に推移しております。なお、今回の業績予想修正に伴う配当予想に変更はありません。

注）上記の予想数値は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績等は、今後様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

以上